**第１回河原地域振興会議**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　日　　時　平成３０年４月２０日（金）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　午後１時３０分～４時１０分

　　　　　　　　　　　　　　　　　　場　　所　河原町総合支所　第6会議室

**〔出席委員〕**

竹田賢一会長、小谷加代子副会長、山縣恒明委員、楮原典子委員、倉信　敬委員、中村佳紀委員、坂本悦子委員、河毛　寛委員、西尾　純委員、奥谷仁美委員、荻原元春委員、坂本綾子委員　　以上１２名

**〔欠席委員〕**

なし

**〔鳥取県東部広域行政管理組合消防局〕**

中谷消防局長、永原消防総務課長

**〔事務局〕**

遠藤支所長、九鬼副支所長、西山市民福祉課長、前田産業建設課長、平尾地域振興課課長補佐

**〔傍聴者〕**

なし

**会議次第**

１　開　会

２　あいさつ

３　協議・報告事項

1. 八頭消防署の改築計画について　【資料１】
2. 平成３０年度総合支所の体制について　【資料２】
3. 平成３０年度河原地域当初予算について　【資料３】
4. 平成３０年度地域振興会議開催スケジュールについて　【資料４】
5. 新市域振興ビジョン推進計画の見直しについて　【資料５】
6. その他

４　その他

５　閉　会

**議事概要**

1. **八頭消防署の改築計画について**

（消防総務課長　資料１により説明）

（委　員）現在の八頭消防署の空き地に新設するとのことだが、業務に支障はないか。

（消防局）出動等に影響が出ないように計画しています。

（委　員）消防署の庁舎が新しくなるということで、消防車の台数が増えるとか何か機能がアップするか。

（消防局）大きく変わるのは女性職員の配属等も考慮して、仮眠室が個室になることです。消防車の台数はそのままです。

1. **平成３０年度総合支所の体制について**

（支所長　資料２により説明）

（委　員）職員の数はこれまでと変わってないか。

（事務局）分室の職員が１名減となっております。

（委　員）この人数で大丈夫なのか。

（事務局）通常業務に加えて昨年度からの災害対応などでバタバタしており、これ以上減になると厳しいと思います。

（委　員）女性職員の割合が高いが、災害時の対応はどうしているのか。

（事務局）災害が発生した場合、災害の程度に応じて対象となる職員は男女を問わず参集しています。なお、市民福祉課は避難所の開設などの対応を行います。

1. **平成３０年度河原地域当初予算について**

（各課長　資料３により説明）

（委　員）あゆ祭りの予算は増えたのか。

（事務局）第４０回ということで予算要求はしましたが、昨年どおりということになりました。実行委員会を中心として知恵を出し合って充実した記念のお祭りとしたいと考えています。

（委　員）バス代替タクシーの利用状況はどれくらいか。

（事務局）数字的な状況は把握していません。交通政策課が取りまとめをしているので、情報収集をします。

（委　員）どのような基準で補助金が出ているのかわからないが、もう少し運行の回数を増やせば利用される人も増えるのではないか。

（委　員）今後、高齢者の移動手段として益々必要となってくる。そのためにも利用頻度などの状況を十分に把握して検討していただきたい。

（事務局）三谷、和奈見などバス路線でないところの運行や、免許証を返戻した高齢者の交通手段など利用頻度だけではなく、いろんな要素が考えられるので総合的に検討したいと思います。

（委　員）あいさつ運動の標語の看板の古いものはどうするか。

（事務局）学校とか設置場所に確認をし、これまでの看板も置いてほしいというところには新しいものを設置し、必要ないところは、これまでの看板を利用して書き換えています。

（委　員）地籍調査は何人でしているのか、なんとか早く進めてほしい。

（事務局）業者に委託しており、現地調査には市の職員は１名がついているようです。

（委　員）調査が終わったところの税金の評価はどうなっているのか。

（事務局）調査後の面積によって評価しています。

（委　員）河原城ではいろんなイベントを行っているが、新しい企画などはどのように決めているのか。

（事務局）河原城は指定管理で運営しているので、風土資産研究会で考えておられます。

（委　員）あゆ太鼓は、町内の３小学校があゆ祭りなどで披露しているが、観光協会が管理している太鼓の修理が必要になってきている。広報誌や防災無線などで町内に寄付を広めてもらえないか。

（委　員）行政が寄付をお願いするのはできないと思うので、人が集まる道の駅や河原城に募金箱を常設するとか、あゆ祭りなどのイベント会場で寄付を募るなどしてはどうか。

（委　員）あゆ祭の実行委員会としても検討する。

1. **平成３０年度地域振興会議開催スケジュールについて**

（副支所長　資料４により説明）

1. **新市域振興ビジョン推進計画の見直しについて**

（各課長　資料5により説明）

（委　員）一般社団法人八上とはどういうものか。

（事務局）山陰合同銀行と農業総合研究所が業務提携し、生産者から集めた農産物を都会で販売する事業を展開される。そのための農産物の集荷場の運営などを行う会社組織で、具体的な活動はこれからだと聞いています。

（委　員）麒麟のまちも今後、民泊、農泊に力を入れると聞いている。国も農泊を進めていこうという動きがある。そういう視点で進めていくと何か新しいものができてくると思う。

（委　員）西郷地区では民泊を広げようとする動きがあり、民泊に係る研修会を計画している。

また、工芸の郷とは別の観光マップをＩターンで大阪から来られ、西郷でカフェをされている方にお願いして作成することとしている。

（委　員）北村の有害鳥獣の解体施設は利用者が少ないと聞いている。解体した肉を販売できる仕組みができれば利用が増えるのではないか。

（事務局）解体施設の管理を地元にお願いしており難しいところもありますが、ジビエに対しての関心は高く、捕獲したものを加工し、商品化して販売するなどの方法を皆さんのご意見をいただきながら考えていきたいと思います。

（委　員）人口減少はどんどん進んでいき町を維持することが年々難しくなってくると思う。行政だけに頼るのではなく、地域が協力し、支え合うことのできる地域づくりができたらいいと思う。そのために集い、話し合える場所があればいいと思う。

（委　員）その場所がむらづくり協議会であったり、各集落であったりすると思う。

（事務局）話し合いの場としては、河原町の未来を語る会があり、小中学生が河原町の未来について意見を発表したりしています。また小中学校ではふるさと教育などの取組みを行っています。

（委　員）この辺りは土や自然にかかわれる環境がある。地域とつながり、精神的な余裕を持ちながら生きていきたいという若い人もいる。都会の人が住みたいと思える地域、子どもたちが都会に出て行っても帰ってきたいと思えるような地域、そんな住みやすい町になればいいと思う。

（事務局）どういう仕掛けをしていけばいいのか話し合える場所が必要だと思います。そのきっかけとなるのが河原町の未来を語る会での子供たちの意見や地域振興会議での意見なので、この地域振興会議でもこのようなテーマを提案いただいて、話し合う機会があればと思います。

1. **その他**

（委　員）東部地区には、まちの保健室の拠点がなかったが、生涯学習センターを拠点として進めていくこととなった。地域の小さいサロンで行ってもらうのが大きな目標なので希望があれば相談してほしい。